

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 社会教育業務推進事業（緊急雇用創出推進事業）
-------------------	-------------------------------------

区分	番号	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	4	雇用と就業環境づくりの推進
小分類	3	産業を担う人材育成
主要な施策	1	職業能力の向上・開発の支援
事務事業番号	008	事務事業コード 31431008 事業開始年度 平成 2 2 年度 事業終了年度 平成 2 2 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	社会教育業務推進事業（緊急雇用創出推進事業）
------	------	------------	------------------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	（事務事業の実施目的を具体的に記載してください） 登別市社会教育中期計画の見直しや、学校支援地域本部の始動、明日のまちづくり特別枠や、指定管理の更新の他、多数の新規業務に係る業務補助。
手段（事業の内容・活動）	（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください） 登別市社会教育中期計画の見直しや、学校支援地域本部の始動、明日のまちづくり特別枠、指定管理の更新に係る調査や、集計、大型事業に係る連絡調整を行う。
成果	（事務事業の実施成果を具体的に記載してください） 上記更新や、事業を円滑に進めることができた。
根拠法令等	（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	ウォーキング講習会及びヘルス ウォーキング大会の参加人数	人	目標値	150				
			実績値	177				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称 緊急雇用創出推進事業補助金	千円	1,552					0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円						0
合 計				1,552	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	0			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 指定管理の更新や、新規社会教育事業を円滑に行うことができたため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 指定管理の更新や、新規社会教育事業の更新や運営が向上したため。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 今後も業務補助を行うことにより、指定管理の更新や新規事業を向上させることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 指定管理の更新や、新規社会教育事業を行うには、時間が必要となるため。

## 担当グループによる評価

終 了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	平成22年度終了事業。
-----	----------------------	-------------

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終 了	備考
-----	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）